

さまざまなことが起こった 2015 年を荒尾市の出来事で振り返ります。皆さんにとって来年もよい年でありますように…

2015 荒尾市 10 大ニュース



1 万田坑が世界文化遺産に登録決定！

7月5日、万田坑を含む「明治日本の産業革命遺産 製鉄・製鋼、造船、石炭産業」が、世界文化遺産に登録されました。この登録に伴い、万田坑への入場者数は前年度比でおよそ4.5倍に急増しています。
7月6日、万田坑ステーションで記念セレモニーを開催。11月3日には万田坑ウェルカムフェスタを開催し、多くの来場者が万田坑の世界遺産登録をお祝いしました。

5 12年ぶりの市長交代 山下新市政が誕生



1月19日、第22代荒尾市長に初当選した山下慶一郎市長が初登庁しました。
就任式では「このまちを全国有数のまちにするのが志であり、市民の負託を受けた私の務め」と述べ、職員に対して「初心に戻り、自分たちの職責をより良く活用し、市民の幸福量最大化に努めてほしい」と訓示しました。

6 荒尾市民病院の建設地を表明



山下市長は新荒尾市民病院の建設地を野外音楽堂と表明しました。
新病院の建設地を市長と語ろう会などでお聞きした市民の皆さんの声、議会との議論や土地調査を委託した業者からのデータなどを基に総合的に判断しました。今後は、市民の皆さんや市議会と連携を取りながら、平成31年度の開院に向け、努めていきます。

7 有明海沿岸道路 中心杭打ち式

9月13日、有明海沿岸道路の三池港ICと荒尾競馬場跡地を結ぶ新たな連絡路2.7kmほどの整備に向け、現地測量着手に伴う、中心杭打ち式が競馬場跡地で行われました。これにより、有明海沿岸道路のⅡ期区間の全線整備に弾みがつきました。



8 「風流」が国選定無形民俗文化財に登録

3月2日、野原八幡宮の「風流」（県指定無形民俗文化財）が国選定無形民俗文化財に選ばれました。風流とは獅子頭に狩衣姿の稚児が太鼓を打ち鳴らし、舞う芸能です。毎年、10月15日の同八幡宮大祭で、市指定文化財である「節頭」と共に奉納されています。



2 秋篠宮同妃両殿下 荒尾干潟と小代焼窯元を御視察

7月18日～8月2日、荒尾市を含む有明海沿岸7市1町で開催された海フェスタくまもとに秋篠宮同妃両殿下が御臨席になりました。
7月23日、両殿下は荒尾市に御来訪になり、荒尾干潟と小代焼窯元を御視察になりました。両殿下の本市御来訪は初めてです。荒尾干潟では、貴重な渡り鳥や漁業者による干潟再生の取り組みなどについての御説明をお受けになりました。



9 今春 木質バイオマス発電開始

7月9日、(株)有明グリーンエネルギーが荒尾産業団地で始める木質バイオマス発電事業の立地協定を市・県・同社で結びました。県内では八代市に続き、2例目です。
主に県内の製材所から出た端材や山林の間伐材の未利用材を燃料とし、地元からの新規雇用も予定されています。今春、発電を開始します。



10 九州荒尾オリーブ村 発足

10月23日、一般社団法人「九州荒尾オリーブ村」が発足し、拠点施設がある樺で記念式典が行われました。5年前から、遊休農地を解消しようとオリーブ栽培を開始し、平成26年度の生産量は2tほど。荒尾市オリーブ研究会は51戸で栽培面積は8ha（6千本）ほどです。同施設では荒尾産オリーブの茶葉などの販売も行っています。



3 荒尾・岱志高校ラグビー部 2年連続8度目の花園へ

11月21日、水前寺競技場で全国高校ラグビー大会の県予選決勝が行われ、荒尾・岱志高校が九州学院を24-20で破り、優勝しました。
荒尾・岱志高校は2年連続8度目の全国大会出場となります。



4 チェーンクロス乾杯でギネス記録達成

4月12日、腕を組んで乾杯した人数の世界記録に挑戦するチェーンクロス乾杯が文化センターで行われました。万田坑の世界遺産登録を後押ししようと、(社)荒尾青年会議所が主催。県内外から駆け付けた782人の参加が認定されました。



◆10大ニュース番外編

平井小・有明小放課後児童クラブを開設
4月1日、新たに平井小と有明小に放課後児童クラブを開設しました。子どもの健やかな成長と、保護者の仕事と子育ての両立を支援し、子育てしやすい環境づくりのさらなる充実を目指します。

「荒尾の和糸」が優良新商品金賞を受賞
8月12日、第一紡績(株)の男性用高級肌着「荒尾の和糸」が、県物産振興協会から平成27年度の優良新商品金賞として表彰されました。荒尾の和糸は綿100%ですが、伸縮性に優れ、着心地が良いのが特徴です。

マジック釣りで修学旅行を初誘致
5月15日、神戸市の中学生が修学旅行でマジック釣りを満喫。マジックの天ぷらや長洲名物「きゃあ(アサリ)めし(弁当)」を味わいました。荒尾市・南関町・長洲町・大牟田市による協議会での初めての誘致です。

水道事業包括委託受託事業者の決定
12月8日、水道事業を包括的に委託する事業者との契約を締結しました。平成28年度から開始する包括委託は民間事業者の提案を事業化した先進的な取り組みです。